

# 島根

## 隠岐魅力UP

島根県は日本で最も神楽が盛ん。出雲、石見、隠岐のそれぞれに個性ある神楽が伝承されていますが、中でも奏楽や歌のリズムが極めて独特なのが、隠岐島前神楽（県指定無形民俗文化財）です。大漁祈願などで舞われたことから「祈禱の神楽」とも呼ばれています。歴史や文化も丸ごとその地域全体をとらえる、というシオパークの視点からしても、島前神楽は重要な資産。7月11、12日には世界シオパークネットワークの審査員が海士町を訪れ、

### 目指せ！世界ジオパーク

島前神楽は豊2層ほどの狭いスペースで舞い、そこできかにダイナミックに感じさせるかが演技力。審査員の方は、あの狭い空間で繰り上げられる不思議なリズムと美しい手ぶり足ぶりに、情感豊かな神々のドラマに思わず引き込まれることでしよう。

菱浦神楽同好会の広報、岡本真幸さんいわく、「う

### 独自の"深化" 島前神楽



練習する菱浦神楽同好会のメンバーら—岡本さん撮影

ちらはシーラカンス（生きた化石）。代々続く社家が伝承してきた神楽なので、な要素が色濃く残された。里の人（一般の民）によるこれは離島ゆえです。大陸

すつきり ワイドに きょう3ページ

から切り離されて独自の深化を遂げたという意味では、シーラカンスと言ふよりオキサンショウウオかな！

菱浦神楽同好会は毎月8日の付く日に練習を行い、発表会のほか全国各地の公演にも遠征しています。今月18日にけいこ場をのぞくと、小学2年生の女の子が懸命に締太鼓を練習中。「子どもは覚えが早い。海士町では町内の保育園児全員に島前神楽を教えています。大きくなったとき、もし神楽をやろうと思ったら、体がそのリズムを思い出すはず」

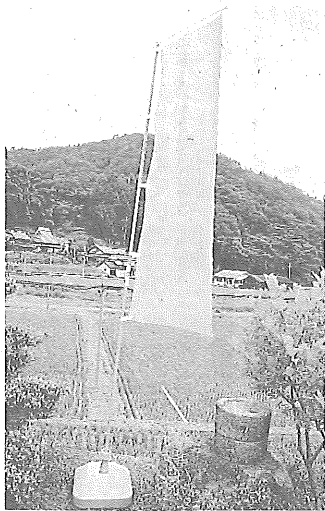
今、隠岐シオパークへの注目度アップとあいまって、神楽に興味がある観光客も増えているようです。「公演はむやみに増やせないけど練習はいつでもできますし、観光客も大歓迎。関心をもってくださる人が増えればうれしいですね」

今夏の公演は、隠岐シオパークフェスティバルのオープニングイベント「隠岐祭」（7月14日、隠岐の島町）、古事記編さん1300年の記念イベント「全国子ども神楽サミット」（8月18、19日、浜田市）、「神話博しまね」の海士町デー（9月29、30日）など。

機会があればぜひ、「オキサンショウウオ的」隠岐島前神楽を体験してみてください。

（海士町総務課情報政策係 岡本真幸 采）

「開店中」を知らせる緑の旗



料金「縁側使用料」300円。腰を

白川さんは「棚田巡

できる。

## カメラ紀行

### 「都川の里」 浜田市旭町

「日本の棚田百選」の一つがある浜田市旭町都川に縁側喫茶「都川の里」が誕生した。棚田の上下などに位置する4軒の女性4人が、5月から自宅の一部を開放。それぞれの縁側では、水田を吹き抜ける風が感じられる。

1軒ずつ区別する場

から棚田がせり上が

積んだ「野面積み」上

白川さんは「棚田巡

できる。



料金は「縁側使用料」300円。腰を